

(27) 阿蘇ジオパーク学習プログラム

1 活動の目的、効果

(1) 体験活動上の効果


◎阿蘇の自然に親しむ ◎阿蘇の文化に親しむ ◎課題克服・達成感

(2) ESD の課題解決に必要な7つの能力・態度

③ 多面的、総合的に考える力

人・もの・こと・社会・自然などのつながり・かかわり・ひろがり（システム）を理解し、それらを多面的・総合的に考える力

2 活動の詳細

概要 (セールスポイント)	ユネスコ世界ジオパークである阿蘇ジオパークに点在するジオサイトを、ジオガイドと巡ったり、実験をしたりすることを通して、火山の歴史や雄大さ、人々の暮らしとの関係を学ぶことができます。 理科や社会、道徳などの深化学習としても活用できます。				
諸条件	実施形態	全行程指導（ジオガイドによる）		提出書類	ジオパーク学習・阿蘇防災学習申込書活動
	必要経費	別紙のとおり		所要時間	別紙のとおり
	活動場所	阿蘇ジオパーク各ジオサイト		対象・人数	別紙のとおり
	時期	通年	下見 不要	天候	内容による（要相談）
準備するもの	青少年交流の家で貸し出し可能な物			団体で準備する物	
	<ul style="list-style-type: none"> 無線機 ピブス 等 			【個人】 <ul style="list-style-type: none"> 帽子 ・手袋（軍手） ・水筒・雨合羽（傘不可） 野外活動に適した服装（長袖・長ズボン） リュックサック ・運動靴 ・タオル（ハンカチ） ティッシュ ・ビニール袋 （必要に応じて） 弁当 ・防寒防風着 ・救急用品 【団体】 ・救急用品 ・携帯電話 ・笛 等	
役割分担	青少年交流の家で行うこと			団体引率者が行うこと	
	1) 実施前 ②ガイド手配の依頼、ガイド確保の連絡（各団体へ） ④活動決定後の確認（各団体へ） 2) 当日 ①物品の貸し出し ④貸出物品の受け取り、参加人数の確認			1) 実施前 ①ジオパーク学習の申し込み（交流の家へ） ③ガイド確保の連絡を受けたら、活動の詳細は、団体とガイド協会で行う。 2) 当日 ①貸出物品の受けとり ②安全、マナー指導 ③活動中の人員、健康状態の把握 ④終了後の物品の返却、参加人数の報告	

3 活動のふりかえりのポイント



視 点：①「阿蘇ジオパークに関する体験や学びをとおして、感じたこと、考えたこと、気づいたことを共有しあう。」

②「阿蘇の自然や歴史とそれを維持している人々の営みが、自分たちの生活とどのように関わっているか考える。」

発問例：①「今日活動した〇〇について、感じたこと、考えたこと、気づいたことを班の中で発表してみよう。」

②「今日活動した〇〇は、私たちの毎日の生活とどのようなかかわりがあるでしょうか。」

4 SDGsで目指す姿

 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>11.4 世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。 阿蘇ジオパークをとおして、阿蘇の自然、文化、人々の営みについて知るとともに、長い年月をかけて維持してきた人々の努力に気づく。 阿蘇での学びから、自分が生活する地域にある自然や文化などについて思いを馳せ、地域社会の一員として、自分にできることを考え行動できる姿。</p>
---	---	---

プログラム実施の流れ

申し込み
(2か月前まで)

- ① 活動検討段階で、「ジオパーク学習・阿蘇防災学習プログラム申し込み用紙」を提出
申込書は交流の家ホームページからダウンロードしてください。
- ② 交流の家より、ガイドの手配を各ガイド団体へ依頼。
- ③ 各団体より、ガイド確保の連絡があった段階で、実施可能。
※ガイドの確保ができない場合は、実施をお断りすることもあります。

実施決定～
当日まで

- ① 利用団体の担当者が、ガイド協会に連絡を取り、当日の見学地、日程等の確認を行う。

実施当日

事前説明 15分

- ①安全面
 - ・活動中はガイドの指示に従う。
 - ・ルートを外れるなど勝手な行動をしない。
- ②健康面
 - ・体調が完全に悪くなる前に、早めに周囲の大人へ伝える。
- ③マナー
 - ・国立公園のため、植物を採集したり石を持ち帰ったり、ごみを捨てたりしない。
 - ・一般の観光客に迷惑をかけない。 など

活動

※時間は、交流の家からの移動時間が含まれています。

プログラム①	仙酔峡ハイキングコース (約3時間～)
仙酔峡…中央火口丘群北斜面に広がる岩場地域。5月～6月には、ミヤマキリシマの群落が生。	
プログラム②	杵島岳・草千里ヶ浜・火山博物館コース (約5時間～)
杵島岳…3000～4000年前頃に活動した比較的新しい火山。新鮮な火山地形を残しているのが特徴。	
プログラム③	草千里ヶ浜・火山博物館コース (約2時間～)
草千里ヶ浜…烏帽子岳の北麓に広がる火口跡にある78万5000㎡の大草原と二重の火口が特徴の代表的な観光地。 阿蘇火山博物館…阿蘇火山の歴史について知れる資料を多く保有した博物館。	
プログラム④	阿蘇神社・水基巡り散策コース (約4時間～)
阿蘇神社…全国に500社以上の奉祭社を持つ。楼門は珍しい二層式で日本三大楼門の一つに数えられます。 宮地地区湧水群…中央火口丘群に降った雨水が地下深くに浸透し、その間にかかる圧力で勢いよく自噴する珍しい地域。	
プログラム⑤	カルデラ実験・噴火実験コース (約2時間～)

活動後

人数・健康状態の確認、借用物品の返却



ジオサイトマップ

番号	ジオサイト名	関連ジオサイト
③	草千里ジオサイト	草千里ヶ浜、阿蘇火山博物館、草千里ヶ浜展望所、烏帽子岳
⑥	仙酔峡ジオサイト	仙酔峡、高岳
⑦	杵島岳ジオサイト	杵島岳、往生岳
⑪	火山の神ジオサイト	阿蘇神社、国造神社、中通古墳群、上御倉・下御倉古墳、霜神社
⑫	阿蘇谷湧泉群ジオサイト	宮地・役犬原地区湧水群



ジオガイドの活用

この活動を行う際、ジオガイドを活用されることをおすすめします。ジオガイドが引率者に代わって、ジオサイトの解説をしてくれます。

ジオガイドを手配する都合上、このプログラムを希望される場合は、活動2ヵ月前までに申し込み用紙を提出してください。なお、ジオガイドを活用すると、下記のとおり、別途料金が必要になりますので、ご了承ください。

必要経費

項目	料金
①仙酔峡ハイキングコース	利用者15名につき、ジオガイド1名8,600円
②杵島岳・草千里ヶ浜・火山博物館コース	利用者15名につき、ジオガイド1名12,300円 ※火山博物館入場料込、別途駐車料金が必要
③草千里ヶ浜・火山博物館コース	利用者15名につき、ジオガイド1名8,600円 ※火山博物館入場料込、別途駐車料金が必要
④阿蘇神社・水基巡り散策コース	利用者15名につき、ジオガイド1名4,300円
⑤カルデラ実験・噴火実験コース	利用者30名につき、ジオガイド1名7,400円 ※材料費別途

《阿蘇火山博物館観覧料》

大人 880円

子供 440円 ※団体割引有り。詳細はこちら➡



移動時間・駐車場料金について

プログラム ①	バスか乗用車を使って、仙酔峡駐車場まで移動することもできます。 バス片道15分、徒歩片道1時間 駐車料金：無料
プログラム ②③⑤	バスか乗用車を使って、阿蘇火山博物館駐車場まで移動します。 バス片道40分 駐車料金（普通車：500円 マイクロ：1,000円 大型：2,000円）
プログラム ④	バスか乗用車を使って、阿蘇神社駐車場まで移動することもできます。 バス片道15分、徒歩片道1時間 無料駐車場：バス4台まで駐車可、普通車70台（隣接して市営有料駐車場有）

※移動手段として、交流の家の所バスを利用することもできます。（大型またはマイクロどちらか1台）利用を希望される場合は、事前の申し込みが必要です。